

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	消化器がんの治療効果および予後予測因子に関する研究
	研究目的	消化器がん症例においてがん関連遺伝子およびがん関連遺伝子となり得る遺伝子の遺伝子変異解析や遺伝子発現を後方視的に調査し、バイオマーカーとしての有用性を検討する。具体的には、2007年4月～2017年3月に手術にて切除されたあるいは内視鏡で採取された粘膜組織よりDNA,RNAを抽出し、遺伝子検索を行う。年齢・性別・病理学的所見・遺伝子情報・再発時期および部位・化学療法の施行の有無およびそのレジメン・予後などの診療情報との関連性の解析を実施する。
	研究期間	西暦 2017年 11月 9日 ～ 西暦 2027年 12月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター 消化器外科 塩澤学
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	神奈川県立がんセンター 消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学 外科治療学研究室 准教授 大島貴